



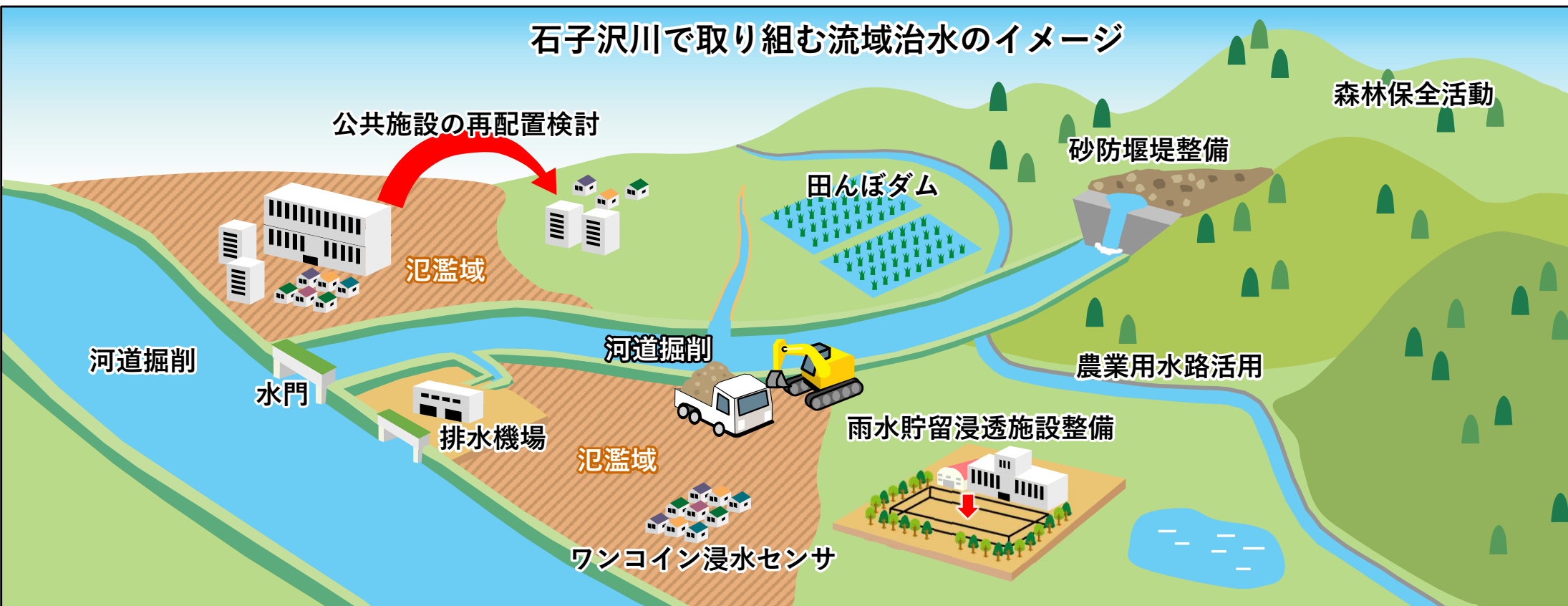
# 地域を“みず”から守る ～ 最上川流域治水 ～

もがみがわ  
緊急治水対策  
プロジェクト



## パブリックコメント等における意見への回答

石子沢川で取り組む流域治水のイメージ



令和7年3月26日

# パブリックコメントの実施結果(意見の整理)



- 今回のパブリックコメントでは、メール及び郵送等により提出された意見が9通計15件、住民説明会(2会場)において出された意見が計16件出された。
- 意見集約の結果、メール及び郵送等での意見、住民説明会での意見共に[流域治水に関する意見](#)と[施設整備に関する意見](#)が出された。

## 【メール及び郵送等での意見(全15件)】

項目	意見分類	意見総数	意見の整理		
			計画に反映する意見	計画に含まれている内容	参考とする意見
流域治水に関する意見	その他	8	0	0	8
施設整備に関する意見	河川整備・管理	7	2	1	4
合計		15	2	1	12

## 【住民説明会での意見(全16件)】

項目	意見分類	意見総数	意見の整理		
			計画に反映する意見	計画に含まれている内容	参考とする意見
流域治水に関する意見	計画目標・内容	1	0	1	0
	関係機関連携	1	0	1	0
	その他	9	0	1	8
施設設備に関する意見	河川整備・管理	5	1	0	4
合計		16	1	3	12

# メール・FAXでの意見に対する回答(案)(1/3)



NO.	分類	意見分類	意見の内容	回答(案)	①「計画に反映する意見」 ②「計画に含まれている内容」 ③「参考とする意見」
1	流域治水	その他	・流水量を調整するには、時間がかかるので、住人の危険度と対策に優先順位をつけ、排水場のポンプを止めるとかなりの危険性がある、あおば地区の石子沢川の河川敷に至急、簡易堤防等を設置してもらいたい!	貴重なご意見として、今後の治水対策検討の参考にさせていただきます。 なお、簡易堤防等の設置など水防活動による対応、避難水位の明示は、早急に検討いたします。	③
2	流域治水	その他	・ワンコインセンサーを設置するのが目的ではなく、センサーの情報をいかに確実に周知出来るかを、検討して欲しい!	早急に検討させていただきます。	③
3	流域治水	その他	・何回も勉強会を実施しなくても直ぐ、確実に危険度を下げる事が出来ると思います!	浸水要因の分析、流域関係者での対策等の合意形成等を目的に勉強会を開催しました。 引き続き、流域全体で取り組む流域治水の推進・深化にご協力をお願いします。	③
4	流域治水	その他	・昔からこの土地は水が上がる事がわかっていたので、水を溜めるようにする計画だったようですが、何故住宅用地に許可をだしたのか。	過去の経緯も含めて確認し、より良い計画になるよう努めて参ります。	③
5	流域治水	その他	・河川改修をしたところで何もかわらない。金の無駄である。 ・右岸と左岸の土地の差がありすぎる。法律的に問題があるのでは。 ・せめて川添いの民家で移転を希望する人がいれば、国から全額補助で移転できるようにしてくれ。	河川改修については、浸水被害軽減に向けて、排水ポンプを継続運転するために必要な最上川の水位を下げるための対策となっておりますので、計画に位置付けております。 いただきました貴重なご意見は、今後の治水対策検討の参考にさせていただきます。	③
6	流域治水	その他	・石子沢排水機場のポンプ停止の指示者はどなたでしょうか。又、その停止の根拠をお願いします。 ・関連の排水機場は何カ所あるのでしょうか。その内中山町のように家屋の浸水が発生した場所があれば教えて下さい。	最上川の水位が計画高水水位を超過する場合は、堤防決壊等甚大な被害を回避するため、排水機場による排水を停止します。このことは、国土交通省の基準により取り決めされており、河川管理者が指示者となります。山形河川国道事務所が管理する排水機場は6箇所あり、排水停止したことにより、浸水被害が実際発生した箇所はございます。	③
7	流域治水	その他	・田んぼダムのお話を聞いていますが、その際に作物被害等があれば補償されるのでしょうか。	作物被害による補償はございません。一方で田んぼダムは畦畔の高さまでの活用であるため、田んぼダム実施により作物への被害は少ないと認識しております。	③
8	流域治水	その他	中山町の駅西地域は、大雨が降ると最上川から逆流した水が長崎駅線路の下を通り、増水した水と合流し内水氾濫であふれ道路が冠水します。私は専門知識もなく素人の考えですが、川に堰き止め装置のようなものを取り付けて逆流したり、氾濫する前に増水した水を一時的に貯水するような治水対策はどうでしょうか。	貴重なご意見として、今後の治水対策検討の参考にさせていただきます。	③

# メール・FAXでの意見に対する回答(案)(2/3)



NO.	分類	意見分類	意見の内容	回答(案)	①「計画に反映する意見」 ②「計画に含まれている内容」 ③「参考とする意見」
9	施設整備	河川整備・管理	<p>川床の浚渫工事に付きましては、実施していただき感謝申し上げます。しかしながら、石子沢川本体の護岸未整備区間の整備に付いては触れておらず、残念に思います。</p> <p>現在においては地区民のボランティア活動に頼り、河川の保全管理を行っております。が、未整備区間の保全是困難で、高齢化に伴い十分に出来ない状況です。近い将来、流水の停滞、護岸の損傷等による崩壊、が心配されます。早急な改善をお願い致します。</p>	<p>石子沢川は、国と県の双方で管理しており、引き続き連携しながら、河道や河川管理施設の巡視や点検を行い、必要な修繕を行うなど、適切な維持管理行っています。</p>	①
10	施設整備	河川整備・管理	<p>・排水設備の更新という案がでてようですが、現在の設備で十分な容量であり、更新の必要があるのか。更新をしたところで最上川が氾濫すると停止するのであれば、無駄な金である。</p>	<p>最上川の水位が計画高水水位を超過する場合は、堤防決壊等甚大な被害を回避するため、排水機場による排水を停止します。一方で、水門が閉扉した際の排水を行う重要な施設ですので、適切に管理を実施していきます。</p>	③
11	施設整備	河川整備・管理	<p>・公共施設の移転を検討しているようですが、公共施設を移転したところで、民家への被害はなくなるのではない。</p>	<p>公共施設の再配置にあわせて、雨水貯留施設を整備する計画としてしています。雨水貯留施設を整備することにより、浸水被害を軽減する効果があります。</p>	②
12	施設整備	河川整備・管理	<p>石子沢の土積をきれいにしていただき有難うございました。川の流れもよくなったと喜んでおりましたが、昨年秋頃、自宅の側の川底に網に入った石が置かれ、上の方は水と砂が溜り始めました。</p> <p>3～4年前の大雨の時に氾濫しました。その時、町議会議員や区長、消防団等が土のうを運んでくれたり積んでもらい、大事にならず少々の床下浸水で済みました。</p> <p>でも、又大雨が降った時、川底の流れが止められているので、水が溢れないかと心配です。スムーズに流れるように、宜敷くお願いします。</p>	<p>ご意見の箇所は、土砂撤去後の出水の際に、河底の低下が確認されたため、これ以上の低下を防ぎ、河底を安定させるため網に入った石（袋詰め玉石）を設置したものです。</p> <p>河道や河川管理施設の巡視や点検を行い、必要な修繕を行うなど、適切な維持管理行っています。</p>	①

# メール・FAXでの意見に対する回答(案)(3/3)



NO.	分類	意見分類	意見の内容	回答(案)	①「計画に反映する意見」 ②「計画に含まれている内容」 ③「参考とする意見」
13	施設整備	河川整備・管理	<p>おそらく、あおば地区11件の中に含まれる位置に住んでいます。”安心で安全な生活が先10年後～も保証されない状況が続く”の方針より読み取ることができました。しかしながら説明会では、あおば地区11件は対策後の数パーセントのため軽視されていました。常に大変な思いをしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常日頃、建物の中外に関係なく、低いところから高いところに物を移動</li> <li>・雨が降ると車を移動させておく、避難準備が必要</li> <li>・庭へ浸水した場合でも泥の洗浄等</li> </ul> <p>今後も続く可能性があること事に、疲弊感でいっぱいです。また、今後は年長的に対処できないし、次の世代に繋ぐ事は出来ないと感じています。あおば地区の方は、この土地に新たに越してきた人が中心で、昔からの住民ではないです。極端な言い方をすれば、土地に対して執着していません。町への依頼かもしれませんが、今後も安心で安全な生活が保障されないのであれば町の基幹建物の移転だけでなく、個人住宅にも移転、買取等の選択肢を準備してください。</p>	<p>この度策定する「石子沢川流域水害対策計画」につきましては、今後もフォローアップ、計画の見直しを行っていきます。いただいたご意見は、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>	③
14	施設整備	河川整備・管理	<p>毎年6月から9月までの間、いつ川が増水になりあふれるか心配で生きたここちがしません。これからも安心して中山町で暮らせるよう、行政の力で解決していただきたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石子沢の川幅の拡幅</li> </ul> <p>あおば橋下流から防災センターまでを拡幅する事で貯水池となり、増水時一時的に貯留することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石子沢川と新堀川の合流地点から結城鮮魚店の所まで護岸のかさ上げと川幅の拡充</li> </ul> <p>洪水のたびに土砂取り除き作業入りますが、すぐにアシが生え、土砂が貯る。上流から土砂が来ないような抜本的な対策を検討してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それでもだめな時はあおば地区(床上浸水宅)の集団移転し、跡地を貯水池にする。</li> </ul> <p>対岸に住む古老の話では「昔は桑畑で増水時はいつもあふれていた」との事。本来宅地に向かない土地造成によるもの。本来元の姿に戻す事もありではないか。夜間は声掛け協力しながら行動できますが、日中は高齢者のみ世帯や留守宅が多く、避難の声掛けが難しい状況です。</p> <p>私は3日間雨が降り続くと、日没前に近くの農協に車を避難させます。もちろん了解をいただいています。理由は水があふれてくると、石子沢とセブン両方から10分位で車を出す事ができなくなるためです。車がないとおにぎり1個買えない生活は二度としたくありません。異常気象だけではないと感じています。</p>	<p>この度策定する「石子沢川流域水害対策計画」につきましては、今後もフォローアップ、計画の見直しを行っていきます。いただいたご意見は、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>	③
15	施設整備	河川整備・管理	<p>石子沢川排水機場のポンプで掻ききれない流水を、最上川本川に放流する排水路を新たに堤内地に整備し内水被害を減少できないでしょうか。この排水路は、現在の水門付近の堤防法尻付近から本線下流側に向け設置し放水路のように再び本線に放流する構造にします。ただし、逆流防止機能や放流するポンプを整備せずに可搬式ポンプを設置すれば経済的にも安価で整備できると考えます。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の治水対策検討の参考にさせていただきます。</p>	③

# 説明会における意見と回答(1/2)



NO.	分類	意見分類	意見の内容	回答(案)	①「計画に反映する意見」 ②「計画に含まれている内容」 ③「参考とする意見」
1	流域治水	計画目標	・今回目標としている令和2年7月洪水より昭和51年8月の時の方が雨量が多かった。多い雨量を目標にすべきではないか。	昭和51年8月洪水は、令和2年7月洪水と比べて、雨量（長崎雨量観測所）は多かったですが、最上川本川の水位が低く、古川水門を閉めずに済んだため、家屋浸水が少なくなっています。そのため、より浸水被害の大きかった令和2年7月洪水を本計画の目標としております。	②
2	流域治水	関係機関連携	・最上堰について、大江町の堰から取水しているが、洪水時操作等について適切に実施できるよう情報共有など連携をお願いしたい。	今後関係者による検討を行い、連携して実施していきます。	②
3	流域治水	その他	・最上堰の活用を見込んでいるが、令和2年7月洪水の時は、梨ノ木第一排水樋管（最上堰放水路）を閉鎖した。活用することは可能なのか。	最上川中流上流緊急治水対策プロジェクト及び須川の河道掘削による治水対策が終了すると、須川の水位が低下するため、令和2年7月と同じ雨量でも活用が可能となります。	②
4	流域治水	その他	・石子沢川排水機場の操作について、操作員の待避水位等は設定してあるが、石子沢川流域住民の待避する基準こそ明示等するべきでないか。	貴重なご意見として、今後の治水対策検討の参考にさせていただきます。なお、避難水位の明示については、早急に検討いたします。	③
5	流域治水	その他	・排水ポンプを停止しているが、停止すれば家屋浸水するのは当たり前である。排水ポンプを停止しないでほしい。	最上川の水位が計画高水位を超過する場合は、堤防決壊等甚大な被害を回避するため、排水機場による排水を停止します。最上川中流上流緊急治水対策プロジェクトの対策を実施することにより、令和2年7月と同じ雨量では、最上川の計画高水位以下となるため、排水機場の運転停止は実施しないこととなります。	③
6	流域治水	その他	氾濫ボリューム、田んぼダムの効果量等の算出根拠を教えてください。	国土交通省において浸水シミュレーションにより算出しております。算出根拠は、第2回協議会の資料2P36、37に記載しておりますので、HPをご確認ください。	③
7	流域治水	その他	浸水が残る家屋の移転について、国負担等のできる仕組みはないか。	全額負担での移転制度はございません。	③
8	流域治水	その他	・令和2年7月洪水の時は、最上川が計画高水位を越えたときに排水機場を停止した。それによって浸水被害が増えたのは事実です。下流への影響を考慮して停止したとのことだが、400m <sup>3</sup> /sを越える流量に対して8m <sup>3</sup> /sだとかなり割合的に少ない。もっと柔軟に対応いただきたい。	最上川の水位が計画高水位を超過する場合は、堤防決壊等甚大な被害を回避するため、排水機場による排水を停止します。最上川中流上流緊急治水対策プロジェクトの対策を実施することにより、令和2年7月と同程度の洪水では、最上川の計画高水位以下となるため、排水機場の運転停止は実施しないこととなります。	③

# 説明会における意見と回答(2/2)



NO.	分類	意見分類	意見の内容	回答(案)	①「計画に反映する意見」 ②「計画に含まれている内容」 ③「参考とする意見」
9	流域治水	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年7月豪雨の際に床下浸水の被害があった。石子沢川の低い所に擁壁のような若干高さのあるものを設置してほしい。</li> <li>・堆積土砂も撤去いただいているが、すぐ溜まるので引き続き対策を実施いただきたい。</li> </ul>	<p>貴重なご意見として、今後の治水対策検討の参考にさせていただきます。</p> <p>なお、簡易堤防等の設置など水防活動による対応については、早急に検討いたします。</p>	③
10	流域治水	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土交通省でカメラを設置しているが、低い箇所が監視できるアングルに固定するなど調整してほしい。</li> </ul>	<p>貴重なご意見として、今後の治水対策検討の参考にさせていただきます。</p> <p>なお、カメラの設置調整などは、早急に検討いたします。</p>	③
11	流域治水	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年7月洪水の時は、石子沢川流域外でも浸水している。そちらの対策もお願いしたい。</li> <li>・低い箇所に水を貯める遊水地的な対策も有効。</li> </ul>	<p>石子沢流域の対策を先行事例として、他河川の流域治水対策も実施していきます。遊水地については、今後の治水対策検討の参考にさせていただきます。</p>	③
12	施設整備	河川整備・管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最上川の堤防だけは、壊れないように管理してほしい。</li> </ul>	<p>堤防や河川管理施設の巡視や点検を行い、必要な修繕を行うなど、適切な維持管理行っていきます。</p>	③
13	施設整備	河川整備・管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石子沢川下流域の対策のみで、上流部には触れられていないと感じた。</li> <li>・護岸の未改修区間について、草木が繁茂している。早急に改修を進めてほしい。</li> </ul>	<p>石子沢川においては、今回の目標としている令和2年7月と同程度の洪水でも流下可能な河道となっております。</p> <p>石子沢川は、国と県の双方で管理しており、引き続き連携しながら、河道や河川管理施設の巡視や点検を行い、必要な修繕を行うなど、適切な維持管理行っていきます。</p>	①
14	施設整備	河川整備・管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂防ダムも設置してあるが、満杯状態である。堆積土砂撤去、新たな砂防ダムの設置等検討してほしい。</li> </ul>	<p>砂防堰堤は、土砂が溜まることで河川勾配を緩やかにして、下流への土砂流出を防ぐ効果や山腹の崩壊を防止する効果があります。土砂の堆積状況については、定期的に監視し、適切な運用を行っていきます。</p>	③
15	施設整備	河川整備・管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳沢の農道について、地域で管理している。今後、地域で管理ができなくなる可能性があるため、対策を検討してほしい。</li> </ul>	<p>貴重な意見として、今後の管理について検討させていただきます。</p>	③
16	施設整備	河川整備・管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石子沢川合流点下流側に三郷堰頭首工がある。また、高速道路橋梁がある。更に樹木も繁茂している。こういったことも最上川の水位が上昇したげんいではないか。</li> </ul>	<p>堰や橋梁施設を検討する際にその施設を設置したことによる水位上昇も踏まえて検討しているため、その施設が原因となって、決壊・越水による浸水は発生しません。一方で土砂の堆積、樹木の繁茂については適切に管理を行い、必要に応じて伐採・土砂撤去を実施していきます。</p>	③